

感染症情報 5月26日～6月1日

府下小児科186医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1,378例(堺市	85例)
②溶連菌感染症	411例(堺市	57例)
③伝染性紅斑	303例(堺市	27例)
④咽頭結膜熱	177例(堺市	23例)
⑤突発性発疹	71例(堺市	3例)

府下292医療機関(堺市25)から

インフルエンザ 65例(堺市 7例)

報告数による順位。前週比0.9%増の2,504件であった。感染性胃腸炎が府下で前週から5%減、堺市で前週91例→今回85例。溶連菌感染症が府下で32%増、堺市で前週46例→今回57例。伝染性紅斑が府下で5%減、堺市で前週18例→今回27例であった。府下の2ブロックで警報レベルの目安の2を超えていた。咽頭結膜熱が府下で2%増、堺市で前週16例→23例であった。

インフルエンザが府下で前週94例→今回65例は31%減。堺市は前週6例→今回7例であった。

全数把握疾患の百日咳は大阪府で83例→78例は6%減、堺市は5例→0例であった。今年に入ってから府内の累積報告数は1,388例となった。

府下292医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症 201例(堺市 16例)
大阪府定点 0.69 堺市定点 0.64

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で5%減、定点当たり0.73→0.69。堺市で14例→16例、定点当たり0.56→0.64。

府下292医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症 11,272例(堺市 1,182例)
大阪府定点 38.60 堺市定点 47.28

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より2%増、定点当たり37.67→38.60、堺市で前回より6%増、定点当たり44.44→47.28であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。